

新かるたの普及活用の検討方法について

1. 制作委員会の役割

“かるたを活用した事業やその普及方策の提案”（制作委員会設置要綱第2条）

2. 検討項目 ※競技ルール、かるた完成品の仕様（札や箱のデザインなど）以外

（1）既存の小学生大会の活性化（運営面の課題解決）

①現状と課題

- ◇現状：平成27年度68チーム（204名） ※町内小学生の約14%が参加
- ◇課題：会場スペース、競技日程、審判員、運営スタッフ

②検討項目

- ◆改訂後、今以上に多くの子供たちに参加してもらうための方策
- ◆さらなる活性化に対応できる大会の実施運営体制の課題解決策

（2）世代を超えて多くの町民に親しまれるための取組の方策

①検討の目的

- ◇せっかく作るんだから、多くの人に知って（使って）もらいたい。
- ◇かるたは、人と地域を元気にする力（可能性）を持っている。
 - ～札を通して、郷土の魅力を知る（関心・愛着を持つ）～
 - ～競技を通して、人と人がつながる（コミュニティが生まれる）～

②検討項目

- ◆かるたを使った新たなイベント等
 - ・使う人から考える。→子供、親、高齢者…
 - ・使う場所、場面から考える。→家庭、自治会、グループ、町の生涯学習講座…
 - ・使い方から考える。→競技、大会、その他（町のPR等）…
- ◆かるたを知ってもらうためのPR方法

3. 検討の流れ

Step-1 アイディアの洗い出し 【7月】※8月は読み句選定
→上記検討項目のアイディアを各委員から発表（とにかく沢山！）

Step-2 アイディアの整理 【9月、10月】
→実現に向けて具体化（検討）するアイディアの選定

Step-3 アイディアの具体化 【11月、1月、2月、3月】※12月は絵札選定
→誰が？いつ？どのように？、課題は？